

# 大学の世界展開力強化事業 取組概要 千葉大学

## 【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

大陸間デザイン教育プログラム (CODE Program)

## 【プログラムの目的・養成する人材像】

- ①日本の未来を担う創造型産業(情報系製造業・コンテンツ産業)におけるデザインビジネスマインドを持つ人材の育成
- ②学部3.5年(早期卒業)+修士1年(6ヵ月×2大学留学)+修士1.5年(研究)の6年間のサンドイッチ留学プログラム
- ③米国+欧州+日本の3つの異なる機関でデザイン経営+デザイン振興+デザイン技術を学習  
「デザインビジネスマインドをもった幹部人材」-日本企業のデザイン部門の幹部候補であり、ビジネスに貢献するデザインをグローバルに考えられるプロフェッショナル人材の育成

## 【構想の概要】

本構想は、米国+欧州+日本の3つの全く異なるデザイン教育プログラムを有する大学が協働し、世界に通用するグローバルなデザイナーを育成するものである。未来の日本を担う創造型産業、特にサービスやコンテンツのデザイン領域において将来活躍が期待できる人材を世界中からリクルートし、我が国の将来の産業を創成することが可能な人材を育成する。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

(国際プログラム会議とワークショップ)

### ○ 6つの質の保証

- ① 学部入学時から留学を意識させ英語による専門教育を2年生より導入
- ② 大学院実施の英語によるプロジェクトベースラーニングを学部2年生後期より導入  
企業と連携したプロジェクトベースラーニングで実践的な教育を実施
- ③ 日本のデザインの現状を学ぶ特別授業を留学前と後に実施  
日本デザイン振興会と連携し日本のデザインの独自性について理解を深める授業を実施
- ④ 留学直前にプレゼンテーション中心の英語授業を行いディスカッションに強い人材を育成
- ⑤ 卒業研究と修士研究を継続させ留学中も研究を継続実行
- ⑥ 留学終了時期にインターンシップを組み込み海外国内の両方を視野に入れたインターンシップを大学がフォローしながら実行



## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

(ワークショップのレポートとカリキュラム概要等)

### ○ 国際プログラムと連携カリキュラムの実施

平成24年(2012年)9月より国際プログラムを実施 成果発表会を12月に実施  
通常カリキュラム・特別カリキュラム・コンペティションカリキュラムなどを展開

### ○ ワークショップ8回実施(24年度) 日本4回 ローマ・ケルン・グラスゴー・NY

ユビキタス・サービス・システムの国際プログラムWS(連携カリキュラム)  
里山ツーリズムの提案、旅行者のためのユビキタスサービスデザイン、エコロジーとサービスサイエンス、都市デザインシステム など

○ 留学準備授業の実施 英語によるデザイン演習 コミュニケーションスキル授業  
イモーショナル・デザイン、デザインシンキングなどの8つの英語による演習を実施  
ブリティッシュカルチャー、エンジニアリングなどのコミュニケーションスキル授業実施



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

平成24年度パロットプログラム 学部4年(大学院進学)3名(6ヵ月×2機関)、大学院生(博士前期課程)4名  
留学推進のワークショップ実施 2年生4名、3年生6名、4年生10名、大学院生4名を海外でのワークショップに派遣

### ○ 外国人留学生の受入れ

パロットプログラム13名(1 Semester 11名、1年間2名)  
留学推進のワークショップ実施

23名(米国、英国、フィンランド、ドイツ)

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	9	31	27	25	19
学生の受入	25	36	28	32	26

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

注)H23・H24は実績、H25以降は計画。

### ○ 派遣・受入の環境

派遣・受入に対する「ワンストップサービス」をインターナショナルサポートデスクとアマヌエンシスが機能を分担しながら連携  
日常生活と日本語・日本文化・ビジネス日本語 =インターナショナルサポートデスク  
専門教育や研究体制の支援とインターンシップや就職支援 =アマヌエンシス

### ○ 外部と連携した宿泊・渡航および安全管理システムの構築

国内宿泊・海外宿泊施設および学生渡航手続きに関する一括管理システムの構築 危機管理に関する包括提携=OSSMA

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ○ 留学推進のための教育内容の可視化と成果普及のための広報実施

カリキュラムの構造を明記したパンフレットを2カ国語で作成 ワークショップに関するインターナショナルレポートを作成  
プログラムに関するホームページを作成し全てのカリキュラムのビデオデータベース化 モバイル対応のホームページも構築  
[http://www.design-cu.jp/code\\_web/](http://www.design-cu.jp/code_web/)